

第4学年 外国語活動学習指導案

指導者 矢巻 利之
ALT Samantha Chen

1 単元名

Do you have a pen? (Let's Try! 2 Unit 5)

～友達にオリジナルの文房具セットをつくって贈ろう！～

2 単元について

(1) 教材観

本単元では、子どもたちにとって身近な文房具を題材に、“Do you have ～?”という表現を用いて、互いの持ち物などを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことを目標としている。実際によく使っている文房具を扱うことにより、英語をより身近に感じることができる単元である。

また、“Do you have ～?”以外にも、“How many?”などの表現を使い、相手がいくつ文房具を持っているかを確認する活動を通して、より詳しく相手について知ることも目標としている。重ねて、“What color do you like?”や“Do you like～?”の既習事項の表現や、色・形などの既習事項の語彙も使いながら、相手がいくつ鉛筆や消しゴムを持っているか、どんな色が好きかなどを尋ねたり答えたりすることで、相手の持っている文房具や好みについて詳しく知り、相手に喜んでもらえる文房具を贈ることを、上記の目標達成を図る活動にしたいと考えている。相手に喜んでもらえる文房具を贈るために、相手の情報を集める活動（やり取り）を行うことで、思考力・判断力・表現力を高めることにも繋がると考えられる。

児童が既習の言語材料を活用し、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができるように、朝の活動時に Small Talk やゲームを通して、表現に慣れ親しむ活動を取り入れ、楽しみながら復習していく。単元の最後には、「友達にオリジナルの文房具を作ってプレゼントしよう」という場面を設定する。相手はどんな文房具を持っているのか、どんな文房具が欲しいのかについて英語でやり取りし、友達のためにオリジナルの文房具を作成していく。そして、作った文房具セットをその理由とともに、みんなの前で紹介する。

本単元において、児童の身近にある物を用いながら、英語で尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむこと、相手意識をもって意図的に会話を仕組むことを通し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成していくことができると考える。

(2) 児童観

本学級は、男子19名、女子12名、計31名の学級である。授業では、積極的にジェスチャーをつけたり、英語を使って話したりすることのできる児童が多い。自分の考えを友達と交流し合い、楽しみながら英語に慣れ親しんでいる様子が見られる。一方で、5月に行った外国語活動に関するアンケートにおいては、「英語の授業は好きですか。」という質問に対し、「あまりそう思わない」が2割ほど見られるなど、授業に対して意欲的でない児童もいることが分かった。そこで、コミュニケーションを行うことの楽しさを感じさせたり、スモールステップを重視した授業を心がけたりすることによって、英語を楽しみと思える児童が少しずつ増えてきた。本単元では、文房具という身近な道具を言語材料として用いること、友達のためにオリジナルの文房具セットを考えるという言語活動を通して、より外国語活動への意欲を高めさせていきたい。

また、アンケートにおいて、「自分が英語を使って何ができれば良いのか、目標がわかって英語の学習をしていると思いますか。」の質問に対しても、2割ほどの児童に「あまりそう思わない」「思わない」という否定的な回答が見られた。児童が目標を明確にしながら学習に取り組めるように、単元の初めに自分の文房具ではなく、友達の文房具セットを作成するという最終的なゴールの形をイメージさせる活動を設ける。単元を通して、相手のために会話で情報収集する必然性を感じ取らせながら活動を進めていく。

普段の授業の様子においては、「英語の文を正確に話すことができないこと」「英語の文をきちんと聞き取ることができないこと」に対し、不安な児童も見られる。個別にフォローしてあげることがもちろん、少しでも伝えられたり聞き取れたりしたことに対して、次の活動の意欲に繋がる評価をしていく必要がある。

(3) 指導観

本単元の指導における重点の1つ目は、相手意識をしっかりとめさせることである。思考力・判断力・表現力を高めるための重要な場面として、相手の喜ぶ文房具を贈るための情報を収集する「やり取り」があげられる。「相手がよろこんでくれるため」「相手が必要とする文房具をつくるため」には、どのような情報が必要かを自分で考えて判断し、英語を使って伝えていく活動である。そのためにはまず、最終ゴールを意識した指導を徹底していきたい。最終ゴールであるオリジナルの文房具を友達につくって贈るということを児童が意識しながら、活動を進めていくことが大切である。そうした上で、相手が何を持っているかを知るために、この単元で学習する“Do you have ~?” “Yes, I do.” “No, I don’t”の表現や、文房具の言い方にしっかりと親しませていきたい。さらに、相手に対しての意識をもたせながら、既習の言語材料を使用し、自分で考えて表現していく活動を仕組んでいきたい。

次に、一人一台端末の効果的活用である。まず、実際に自分の筆箱の中身を画像として保存し、それを相手のタブレット型端末に送信する。次に、相手はその画像にオリジナルの文房具を追加して、新たな文房具セットを作成する。最後に、作成した画像を返信することで、文房具セットをプレゼントすることができるという流れの活動を仕組んでいきたい。また、ペアでのインフォメーションギャップの活動にもICT機器を用いていきたい。例えば、相手とのやり取りを通して得た情報をもとに、端末で配付したワークシートの空いているマスに適切な画像を操作することは、絵に描いたり紙を切って貼ったりするよりも手軽であると同時に、児童の意欲を高めながら学習することに繋がると考える。

最後に、振り返りシートの工夫である。「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう人間性」を自己評価するとともに、指導者からのコメントも受けられるシートを作成する。児童の学習に対する意欲の向上や、次の学習への子どもたちの意欲を高めるシートとして活用していきたい。また、外国語活動などで児童用のルーズリーフは作成しないが、児童と目標を共有できるように、最終的なやり取りや発表において、「“Do you have ~?”は必ず入れよう」「“What color do you like?”を使って友達についてより詳しく聞けるとさらにいいよね」など、具体的な目標を伝え、自分が目指すべき位置を意識できるようにしていきたい。

3 単元目標

- 文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
【知識及び技能】
- 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
【思考力、判断力、表現力等】
- 相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

4 関連する学習指導要領における領域別目標

| | |
|----------------|--|
| 話すこと (やり取り) | ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りに関する事柄について、簡単な語句や基本的表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。 |
|----------------|--|

5 評価規準

| | 知識・技能 | 思考, 判断, 表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|---|--|
| 話すこと (やり取り) | 文房具などの学校で使う物や持ち物の言い方, I have / don't have ~. Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. などを用いて話すことに慣れ親しんでいる。 | 自分が持っている文房具のことを伝えたり, 相手の持っている文房具について知ったりするために, 簡単な語句や基本的表現を用いて, 相手に分かるように伝え合っている。 | 自分が持っている文房具のことを伝えたり, 相手の持っている文房具について知ったりするために, 簡単な語句や基本的表現を用いて, 相手に分かるように伝え合おうとしている。 |

| 時 | 目標 (◆) 主な活動 (○) アクティビティ (・) 誌面化されている活動 (【】) | 評価 | | | |
|---|---|--------|-------------|--------|--|
| | | 知 技 | 思 判 表 | 態 度 | ○評価規準 (方法) |
| 1 | <p>◆ 文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○何かな, 予想しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答えたり, 持っている物を数えたりする。 <p>○誌面を見てどのような物があるかを発表し, 文房具の言い方を知る。</p> <p>○指導者の話を聞いたり, デモンストラーションの様子を見たりして, 単元の見通しをもつ。</p> <p>○【Let's Watch and Think1】 p18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文房具の言い方を知り, その数を数える。 <p>○【Let's Play】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のヒントを聞いて, 自分の持ち物から該当するものを探して言う。 ・指導者の質問に答える。 | | | | <p>本時では記録に残す評価は行わないが, 目標に向けて指導を行う。</p> |
| 2 | <p>◆ 文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ビンゴゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文房具のカードを並べ, ビンゴを行う。 <p>○カードデスティニーゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文房具のカードを用いて, やり取りを行う。 <p>○【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで, 自分の立場で答える形でチャンツを言う。 <p>○【Let's Listen】</p> | | | | <p>本時では記録に残す評価は行わないが, 目標に向けて指導を行う。</p> |

| | | | | | |
|---------|---|---|---|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・筆箱の中身の紹介を聞き，誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり，ペアでやり取りしたりする。 | | | | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ◆文房具など学校で使う物について，尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○【Let's Chant】 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 ○【Let's Watch and Think2】 p20 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子どもたちがかばんの中に持っている物を知り，自分たちの持ち物と比べて気づいたことを□に記入する。 ○【Let's Play2】 p21 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの一人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り，相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。 Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ○文房具などの学校で使う物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (行動観察・振り返りカード点検) |
| 4 本時 | <ul style="list-style-type: none"> ◆相手意識をもって，持っている文房具や，欲しい文房具について尋ねたり答えたりしようとする。 ○Small Talk <ul style="list-style-type: none"> ・好きな色やスポーツなどについて，指導者の質問に答えたり，友達と会話をしたりする。 ○【Let's Chant】 <ul style="list-style-type: none"> ・会話形式でチャンツを言う。 ○【Let's Play】 <ul style="list-style-type: none"> ・2つのシートを用いて，互いに空いているマスを埋めるため，友達と会話を行う。 (インフォメーションギャップ) ○【Activity】 <ul style="list-style-type: none"> ・相手に贈る文房具を考えるための，情報を尋ね合う。 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ○相手意識をもって，友達の欲しいものを尋ねたり，自分のことについて答えたりしている。 (行動観察・振り返りシート点検) |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ◆相手に配慮しながら，文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。 ○【Let's Chant】 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 ○【Activity】 <ul style="list-style-type: none"> ・友達のために文房具セットを作る。 ・誰のためにどのようなセットを作ったか紹介する。 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ○相手に配慮しながら，文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。 (行動観察・振り返りカード点検) |

7 本時の学習

(1) 目標

○相手意識をもって、持っている文房具や欲しい文房具について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。

【思考・判断・表現】

(2) 展開

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 (H:HRT A:ALT) | ・準備物 ○評価規準 |
|----|---|--|----------------------------|
| 2分 | 1. Greeting ・挨拶をする。 ・指導者の問いに答える。 | ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 | |
| 5分 | 2. Small Talk ・好きな色やスポーツなどについて、指導者や友達と会話を行う。 | ・簡単な会話を用いて、“What ○○ do you like?” の用法や、反応の語句を確認していく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> H: What color do you like? A: I like white. H: Oh, Nice! A: How about you? H: I like red. H: OK. I like red too. </div> | |
| 5分 | 3. Today's goal ・オリジナル文房具セットをつくるためのやり取りを確認する。 ・本時のめあてをつかむ。 ・児童は文房具シートを見ながら、本時の目標を捉える。 | ・H/A はオリジナルの道具箱作成について会話を行う。会話後は、児童に質問しながら、本時のめあてにつなげる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> H: Do you have a pencil? A: Yes, I do. H: How many? A: Two pencils. H: OK. You have two pencils. A: Do you have an eraser? H: No, I don't. A: I see. A: What color do you like? H: I like blue. A: Me, too. What sports do you like? H: I like soccer. A: Nice. </div> | ・文房具シート (掲示) ・めあて (掲示用) |

| | | | |
|---------|---|---|---|
| | | <p>友達にオリジナルの文房具セットをおくるために、 どんな文房具を持っているかたずね合おう。</p> | |
| 3 分 | <p>4. Review</p> <p>○フェイントリピート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の後にリズムよく発音する。 ・指導者が指したカードと発音が違ってても、惑わされずにカードの単語を発音する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・A がカードを指して、児童にリピートさせる。慣れてきたら、指したカードとは違う単語を発音する。何度か繰り返す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・絵カード |
| 10 分 | <p>5. Let's Play</p> <p>○インフォメーションギャップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空いているマスを埋めるため、友達と会話を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《児童のやりとりの例》</p> <p>S1: Do you have a pencil? S2: Yes, I do. S1: How many? S2: Two pencils. S1: Thank you.</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・H/A でデモンストレーションを見せながら、互いに質問し合うことで、枠が完成することを伝える。 ・会話をするときには、タブレット端末を持たず、相手の目を見て会話することを意識させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《児童のやりとりの例》</p> <p>S2: Do you have an eraser? S1: No, I don't. S2: I see. Do you have a ruler? S1: Yes, I do. S2: How many? S1: One ruler. S2: OK. Thank you.</p> </div> | <p>タブレット端末</p> |
| 16 分 | <p>6. Activity</p> <p>○相手に贈る文房具セットをつくるための、情報を尋ね合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のデモンストレーションを見ることでイメージをもつ。 ・質問することで、相手がすでに持っている文房具を確認したり、どんな文房具が喜んでもらえるかを考えたりしながら会話をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・H/A でデモンストレーションを行い、目指すべき姿を共有する。 ・基本的には“Do you have a pencil?” “Yes, I do.” や “No, I don't” で返す活動を主とするが、既習表現を用いることで、より詳しく相手のことを確認する。 <p>“How many?”</p> <p>“What ○○ do you like?”</p> <p>“Do you like ○○?”</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・児童用ホワイトボード (道具箱) <p>○相手意識をもって、友達の欲しいものを尋ねたり、自分のことについて答えた</p> |

| | | | |
|-----------|---|--|-----------------|
| | <p>〈相手の持ち物を尋ねる会話例〉</p> <p>S1: Do you have a pen? S2: Yes, I do. S1: How many? S2: Two pens. S1: OK.</p> <p>S1: Do you have an eraser? S2: No, I don't. S1: Oh, I see. Do you have a calendar? S2: Yes, I do. S1: Me, too.</p> | <p>・途中で中間評価を行い、より良い活動を目指せるような指導を行う。</p> <p>〈相手の好きな物を尋ねる会話例〉</p> <p>S1: What color do you like? S2: I like red. S1: Me, too. I like red and blue. S2: Nice.</p> <p>S1: What sports do you like? S2: I like soccer. S1: Nice.</p> <p>S1: Do you like yellow? S2: No, I don't. I like black. S1: Good color!</p> <p>S1: Do you like a long pen? S2: Yes, I do. I like long pen. S1: OK.</p> | <p>りしている。</p> |
| <p>3分</p> | <p>7. 振り返り</p> <p>・振り返りシートに記入する。 ・学んだことや気付いたことを発表する。</p> | <p>・HはAに今日の児童のよいところを聞く。 ・Aは本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> | <p>・振り返りシート</p> |
| <p>1分</p> | <p>8. Greeting</p> <p>・挨拶をする。</p> | <p>・挨拶をする。</p> | |